



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2020/09/15

研究課題名	超緊急帝王切開シミュレーション教育の効果に関する後ろ向き研究
研究の対象	2015年7月から2020年6月までに当院で施行された超緊急帝王切開術が対象です。
研究目的・方法	<p>超緊急帝王切開術(Grade A)は経験する機会が少ないため、シミュレーション教育が必要であり、近年、多職種による参加による本格的なシミュレーションを行う施設が増えていることを考慮し、当院でも2018年から麻酔科医、産婦人科医、新生児科医、助産師、看護師によるシミュレーションを行っています。このシミュレーション教育によって超緊急帝王切開を安全に遂行できる可能性があります。これから行うものでなく、すでに手術の行われた患者様のデータを収集し、今後の医療に発展させていく目的で行っています。超緊急帝王切開決定(GradeA宣言)から児娩出までの時間(DDI)に加え、DDIをさらに細かく区切ってその時間を調べます。児のアプガースコアも調べます。</p> <p>研究期間:許可日~2021年9月</p>
研究に用いる試料・情報の種類	麻酔記録、診療記録から後方視的に調べ、統計処理を行います。 診察券番号など個人を特定する情報は使用しません。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 研究責任者:公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 麻酔科部長 黒崎明子 〒530-8480 大阪市北区扇町2-4-20 TEL 06-6312-1221</p>